

54 受けたくない電話を拒否する（着信拒否設定）

特定の電話番号や電話番号が通知されない着信を拒否することができます。また、着信を拒否するときに相手にメッセージを流したり、拒否設定の着信を着信履歴に記憶するかしないかの設定ができます。





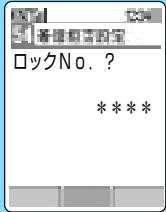
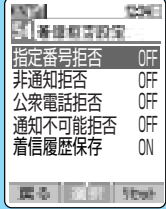

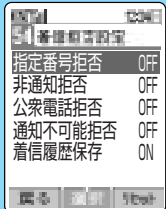
指定番号拒否	特定の相手（電話番号）からの着信を拒否することができます。応答メッセージは「この電話番号からの電話はお受けできません。」を流すことができます。
非通知拒否	番号通知を非通知にしている相手からの着信を拒否することができます。応答メッセージは2種類から選択できます。 ・ 応答メッセージ1 「この電話番号からの電話はお受けできません。」 ・ 応答メッセージ2 「発信者番号通知がされていません。電話番号の頭に186をつけておかけ直してください。」
公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否することができます。応答メッセージは「この電話番号からの電話はお受けできません。」を流すことができます。
通知不可能拒否	番号通知ができないエリア、電話機からの着信を拒否することができます。応答メッセージは「この電話番号からの電話はお受けできません。」を流すことができます。

ご注意

- 割込通話の着信は着信拒否をすることはできません。

お知らせ

- 着信拒否設定に該当する着信があったときは着信音、着信ランプ／お知らせランプでのお知らせはせず、画面には着信拒否起動中のメッセージが表示されます。
- 着信転送サービスの無応答転送もしくは、お留守番サービスを設定している場合、着信拒否設定をしていても着信転送サービス、もしくはお留守番サービスが優先されます。

操作	表示	補足
1  5 な JKL 4 た GHI		
2   ロックNo.を入力する	 ↓ 	4桁の数字を入力します。 ロックNo.は「*」で表示されます。 設定項目選択画面が表示され、現在の設定が表示されます。 ※お買い上げ時は以下の設定になっています。 指定番号拒否 : OFF 非通知拒否 : OFF 公衆電話拒否 : OFF 通知不可能拒否 : OFF 着信履歴保存 : ON
3 		設定する項目を選択します。 各拒否の設定のしかたについては下記ページをご覧ください。 ・ 指定番号拒否 P.29 ・ 非通知拒否 P.29 ・ 公衆電話拒否 P.29 ・ 通知不可能拒否 P.29 ・ 着信履歴保存 P.29

機能設定の使いかた

指定番号拒否を設定する

■電話番号を登録する

特定の番号を10件まで設定できます。

操作	表示	補足
1 「指定番号拒否」を選択		選択のしかた [P28]
2		電話番号の登録画面が表示されます。登録No.を選択します。
3 F2 「編集」を選択		機能メニューが表示されます。
4		電話番号の入力方法の選択の画面が表示されます。 「着信履歴検索」 : 着信履歴を検索して入力します。 「発信履歴検索」 : 発信履歴を検索して入力します。 「電話帳検索」 : 電話帳を検索して入力します。 「新規入力」 : 電話番号を入力します。 ※ここでは「新規入力」の説明をします。その他の項目についてはそれぞれで検索すると操作6の画面になります。

5 電話番号を入力する		電話番号の入力画面が表示されます。拒否する電話番号を入力します。
6		入力した電話番号が表示されます。続けて電話番号を登録できます。 を押すと着信拒否設定画面になります。 [P29] (操作2)

お知らせ

- 操作2ですでに登録されているNo.を選択したときは、操作4の画面に「修正」という項目が表示され、電話番号を修正することができます。
- 入力した電話番号が電話帳に登録されているときは、操作6の画面に電話帳に登録してある名前が表示されます。
 ※ [名前表示] [P26] が「ON」設定のとき

機能設定の使いかた

制限についての機能

機能設定の使いかた

■着信拒否を設定する

操作	表示	補足
1 「指定番号拒否」を選択 ▶		選択のしかた 電話番号の登録画面が表示されます。
2 ▶		設定を選択します。 「ON1 (応答メッセージ有)」 : 応答メッセージを流して着信拒否します。 「ON2 (応答メッセージ無)」 : 応答メッセージを流さず着信拒否したあと、接続できなかったことを相手の方へガイダンスでお知らせします。 「OFF」 : 着信拒否しません。 ※ 「ON1 (応答メッセージ有)」 選択しているときはF2 を押し、応答メッセージを再生することができます。
3		設定完了の画面が表示されます。

お知らせ

- 操作1の画面で を押し登録電話番号の全桁を確認することができます。また、この画面でF2 を押し機能メニューが表示されます。項目を選択し を押しそれぞれの操作が行えます。

項目	操作内容
編集	選択した電話番号を編集することができます。
消去	選択した電話番号を消去することができます。
全消去	登録してあるすべての電話番号を消去することができます。

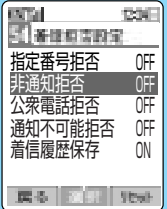
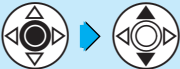
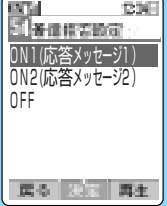

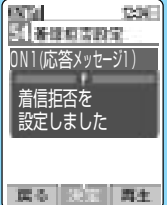
■電話番号を消去する

登録した電話番号をすべて、または1件ずつ消去することができます。

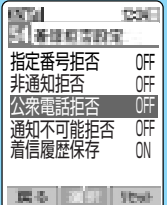
操作	表示	補足
1 「指定番号拒否」を選択 ▶		選択のしかた 1件のみ消去するときは、消去したい電話番号を で選択します。
2 F2 ▶		機能メニューが表示されます。 1件消去するとき : 「消去」を選択します。 すべて消去するとき : 「全消去」を選択します。
3 ▶ 「YES」を選択		消去確認の画面が表示されます。 中止するときは「NO」を選択します。
4		消去完了の画面が表示されます。


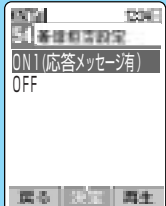

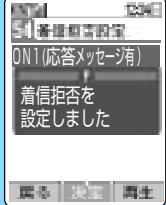
機能設定の使いかた

非通知拒否を設定する

操作	表示	補足
1 「非通知拒否」を選択		選択のしかた P.28
2 	 設定選択画面が表示されます。 設定を選択します。 「ON1 (応答メッセージ1)」 : 応答メッセージ1を流して着信拒否します。 「ON2 (応答メッセージ2)」 : 応答メッセージ2を流して着信拒否します。 「OFF」 : 着信拒否しません。 ※ 「ON」を選択しているときはF2(再生)を押すと、 応答メッセージを再生することができます。	
3 	 設定完了の画面が表示されます。	

公衆電話拒否、通知不可能拒否を設定する

操作	表示	補足
1 「公衆電話拒否」または「通知不可能拒否」を選択		選択のしかた P.28 例: 「公衆電話拒否」

2 	 設定選択画面が表示されます。 設定を選択します。 「ON1 (応答メッセージ有)」 : 応答メッセージを流して着信を拒否します。 「OFF」 : 着信を拒否しません。 ※ 「ON」を選択しているときはF2(再生)を押すと、 応答メッセージを再生することができます。	
3 	 設定完了の画面が表示されます。	

着信拒否した着信を着信履歴に記憶する (着信履歴保存)

着信拒否した着信の着信履歴への保存をON/OFFすることができます。

操作	表示	補足
1 「着信履歴保存」を選択		選択のしかた P.28
2 	 「ON」または「OFF」を選択	保存のON/OFF選択画面が表示されます。 「ON」 : 保存します。 「OFF」 : 保存しません。
3 	 設定完了の画面が表示されます。	

機能設定の使いかた
制限についての機能

機能設定の使いかた

着信拒否設定をリセットする

すべての着信拒否設定をお買い上げ時の状態（拒否設定：OFF、着信履歴保存：ON）にリセットします。

操作	表示	補足
1 着信拒否の設定項目 選択画面を表示する		表示のしかた
2 F2 (左) → (右) 方向キー 「YES」を選択		リセット確認の画面が表示されます。 中止するときは「NO」を選択します。
3 (右) 方向キー		リセット完了の画面が表示されます。

55 メール操作を制限する（メール制限）

EメールおよびCメールに関する操作をするときにロックNo.を入力しないと使用できないようにします。メール制限の解除は同様の操作を行います。

操作	表示	補足
1 (右) 方向キー → (左) 方向キー 5 JKL 5 JKL		現在の設定が表示されます。 ※お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
2 (右) 方向キー ロックNo.を入力する		4桁の数字を入力します。 ロックNo.は「*」で表示されます。
		設定完了の画面が表示されます。

お知らせ

- メール制限中にEメールまたはCメールに関する操作を行うと「メール制限中です」と表示され、ロックNo.入力画面になります。
ロックNo.を入力するとEメール、Cメールに関する操作が行えるようになります。

機能設定の使いかた

制限についての機能